

F o r e s t 通 信



林野庁 関東森林管理局 高尾森林ふれあい推進センター No.302



ツグミ(ヒタキ科)

写真のツグミですが、このぷっくりとした姿から何か連想できませんでしょうか。そうです、冬の福良雀（ふくらすずめ）の姿です。

福良雀とは冬に羽根の間に空気を入れての防寒対策で、体がぷっくりとした状態のスズメのことを言います。

このツグミはまさに「福良ツグミ」と言えますね。暦では春でもまだまだ寒い日が続きます。冬鳥のツグミでさえも防寒対策として、このような姿をとるのです。何とも可愛い姿ですね！

(写真・文 大作栄一郎氏)

巻頭 photo

高尾山の生きものたち



イチリンソウ(キンポウゲ科)

山間の土手などに生える多年草です。長い茎の先に一輪だけ花をつけることからこの名前が付けました。「スプリング・エフェメラル」(下記いろはの森参照)と呼ばれる早春の花のひとつです。枝が横に這うように伸びるので、開けた空き地いっぱいに群生していることがあります。妖精の名にふさわしい可憐な花です。

いろはの森

通勤電車の窓から入る日差しが「暖かい」を通り越していきなり「暑い」になり、首筋をじりじり焼いた2月最後の日、季節が変わったのを感じました。まだ少し地面に雪が残っていますが、肌を刺す風の冷たさが和らぎ、ずいぶん過ごしやすくなりました。

春は草花が一斉に芽吹き、鮮やかな新緑に誘われるように登山客が増える季節です。3月から4月にかけて、早咲きのスミレや「スプリング・エフェメラル」と呼ばれる早春の花々がそここで見られるようになり、写真を撮る方も多くいらっしゃいます。しかし、その際にちょっと注意していただきたいことがあります。

斜面の上や歩道を外れた所に咲く花を撮影する時、地面に片足をかけてバランスを取ったり、つい奥まで踏み込んだりしていませんか？ 知らず知らず足下のこれから咲くスミレのつぼみや、葉に隠れた小さな花を踏んでしまっていることがあります。また、地面を踏み固めると樹木の根にもよくありません。できるだけ、歩道から外れた奥へ踏み込むことのないよう、自然に優しい撮影・散策をお願いします。(ま)

「スプリング・エフェメラル」

春先の短い期間花をつけ、夏になる前に溶けるように消える草花の総称。直訳すると「春の儚いもの」と言うような意味で「春の妖精」とも呼ばれる。



高尾森林ふれあい推進センターは、皆さんが高尾山の自然に親しみ、森林や林業に理解を深めるための諸活動を行っています。

平成25年度

森林ふれあい推進事業について

森林ふれあい推進事業は日頃自然に触れ合う機会の少ない首都圏在住の皆様を中心に、自然に親しんでいただくことを目的として、高尾森林ふれあい推進センターが主催し、森林インストラクター東京会が実施するイベントです。

平成25年度は春の「陽春の里山を健康ハイク」を皮切りに、夏の「セッコクと初夏の草花を訪ねて」、秋の「高尾山ブナの黄葉とモミジ紅葉ハイキング」、冬の「富士山眺望と氷の華シモバシラ鑑賞」など、高尾山およびその周辺の地域で季節の旬に合わせ、全部で21のイベントが企画されました。



樹上に咲くセッコクの花

春、夏、秋、冬の高尾山親子自然観察会と「木下沢の溪流ジャブジャブ歩き」の5件は親子を対象としたイベント(冬は降雪のため中止)で、残りの16件(1本は雨のため中止)は、一般の皆様を対象としたイベントです。今年もお陰様で延べ700名を超える皆様のご参加をいただくことができました。

親子自然観察会には毎回50名前後の皆様にご参加いただきました。「木下沢の溪流ジャブジャブ歩き」は、夏の日差しの中を文字通り木下沢の溪流の中を歩いたり、カゲロウやカワゲラなどの水生昆虫を観察したりと都会の子供たちがなかなか日常体験できない企画であり、毎回多数の応募があり今年度も2日に分けて実施しました。

一般の皆様を対象としたイベントは、季節に応じた植物等の観察をしながら4～5時間程度の軽ハイキングが中心ですが、「陣馬から高尾まで三山踏破！」の様に、陣馬山、景信山、高尾山の三山を8時間かけて踏破する健脚コース(今年は雨で中止)をはじめ、やや難易度の高い中級コースもいくつか含まれており、参加される皆さんそれぞれの体力・脚力に応じて選んでいただけるようになっています。



見て触れて学ぶ

毎回幅広い年代40名前後の皆様の安全を第一に講師の肉声が聞き取れる範囲を考慮し、10名以下構成の班に分け、経験豊かな森林インストラクターによる楽しい解説を織り交ぜながら自然に触れてのハイキングです。六号路、四号路、稲荷山コースあるいは日影沢林道から山頂へなど様々なコースを使い、また滝ノ沢林道、大平林道、南高尾尾根道などを歩くイベントもありました。キブシやアブラチャン、スミレやセッコク、シモバシラやセンブリなど四季折々の花やガマズミ、ムラサキシキブ、イイギリ、ツルリンドウなどさまざまな木の実・草の実も観察できました。夏にはオオルリの美しいさえずりも聞けました。

参加された皆様からは、高尾の素晴らしい自然を大切にしたいという意見などの他、いろいろ植物の名前を教えてもらって視野が広がった。今まで歩いたことのない新しい道を教えてもらい有難かったなど参加して良かったという声を直接、またアンケートからいただくことができました。26年度も皆様に喜んでいただけるよう様々な企画が予定されており、多くの皆様にまたご参加いただきたいと思っております

(写真・文 森林インストラクター東京会 永井和久氏)



森林教室

八王子市立上川口小学校

八王子市立上川口小5・6年生は、2月25日(火)、当センターによる出前森林教室で「私たちの生活における燃料の変化、炭の効果、地球温暖化と森林など」について学び、職員からのクイズ形式の問いに元気に手を挙げて答えていました。当初は、学校の裏手の山にある「自然探勝ランド」で竹炭づくりを予定していましたが、2月中旬の豪雪の影響で急きょ森林教室に変更したものです。

この学校は、玄関に広々としたスペースを設け「上川自然広場」と名付け、学校周辺で見られる生き物や子どもたちが作った展示物が飾られ、また学校裏手には、山頂まで続く「自然探勝ランド」があって、自然を楽しむ子どもたちの元気な歓声が響いていました。

また、先生から「この地域の方々は、1m近い豪雪の朝、地域総出で自宅の庭の除雪より、子どもたちのために学校までの通学路を優先して除雪いただき、とても感激しました。子どもたちを地域で見守っていただける素晴らしいところ」と、ほんわか心温まる話をうかがいました。



職場体験

八王子市立ひよどり山中学校

3月4日(火)～5日(水)の2日間、八王子市立ひよどり山中学校の1年生から3年生までの3名が職場体験にやってきました。今回の職場体験の目的は「職場を知る・森を知る」です。1日目は講師役のセンター職員から森林・林業について講義を受け、国有林の概要や林業の仕事内容について学びました。地球温暖化の防止に森林が重要な役割を果たしていることや、木材の性質や様々な用途など、色々な視点から森林・林業について学びました。

2日目はあいにくの雨となってしまいましたが、センター1階の体験室で木工体験をしました。一見単純な作りに見える木の台などでも、実際に作ってみると釘を打つ場所を迷ったり、寸法を合わすのが難しかったりなかなか手強いものでした。しかし根気よく続け、満足できる作品に仕上がったようです。

職場体験を終えると、「普段あまり知ることのない森林について勉強できた。学校で友達に色々話したい」、「将来家を建てる時は木の家にします」など、生き生きとした感想を聞くことができました。





information 参加者募集中！

カタクリとシュンランと ベニシダレ桜を訪ねる 南高尾春風ハイキング



梅の木平のカタクリ、南高尾のシュンラン、高楽寺のベニシダレザクラを訪ねて高尾の春を満喫しませんか。

- と き** 平成26年3月31日(月)
集 合 京王線高尾山口駅前 **9:30**
行 程 高尾山口駅(徒歩)～梅の木平カタクリ群生地
 ～南高尾・尾根道～(昼食)～高楽寺～
 高尾駅南口(解散15:00頃)
 (距離約6km、4、5時間、アップダウンあり)
実 施 森林インストラクター東京会
対 象 者 30名(応募者多数の場合は抽選)
参加費 1,900円(カタクリ群生地入場料200円含)
持ち物 昼食、飲み物、ハイキングシューズ、雨具、
備 考 レジャーシート、ストック
 小雨決行(荒天中止、前日に参加者宛連絡
 します)

申込方法

往復ハガキの往信面に、参加者全員の①郵便番号
 ②住所③氏名(ふりがな)・年齢・性別④電話番号(中止
 などの緊急連絡用)⑤電子メールアドレス⑥このイベント
 を何でお知りになったか。返信面には、お申込者の宛名
 をご記入のうえ、高尾森林ふれあい推進センター
 「カタクリ」係までお申し込みください。

★申込〆切 平成26年3月17日(月)必着



編集後記

2月は全国的に天気が荒れ、多くの地域で何十年
 ぶりの大雪を観測しました。高尾も近年ないほどの
 降雪量で、山頂付近では高さ1メートルもの積雪に
 なり、登山道も通行不能状態になりました。2月の
 下旬頃になってようやく地面の残雪が溶け始め、
 少し気温が上がったような気がしました。春の訪れを
 感じますが、同時に花粉の襲来も感じる3月の始まり
 です。(ま)



Forest通信 H26.3.1.No.302 4



information

キャンプ場の積雪状況について



キャンプ場下段

平成26年3月4日現在、日影沢キャンプ場の積雪
 量は約40cmです。所々深い部分があり、踏み抜くと
 大変危険です。駐車場も雪が溶けずに残っており、
 現在使用できません。現地は3月に入っても気温の
 低い日が続いており、3月中旬くらいまではこのよう
 な状態が続くと思われます。キャンプ場ご利用のお客
 様にはご迷惑をおかけしますが、この間は新規のご予
 約をお断りすることがあります。ご迷惑をおかけしま
 すが、何とぞご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。



駐車場

Forest通信 No.302

発行: 高尾森林ふれあい推進センター

Forest通信へのご意見・ご要望・イベントの

お申込み・お問合わせ先

林野庁 関東森林管理局 高尾森林ふれあい推進センター

〒193-0844 東京都八王子市高尾町2438-1

TEL 050-3160-6040 FAX 042-663-7229

<http://www.rinya.maff.go.jp/kanto/takao/index.html>

